



政府統計

統計法に基づく国の  
統計調査です。調査票  
情報の秘密の保護に  
万全を期します。

事業者 ID

本調査は、環境省が統計法に基づいて調査を行う  
ものであり、統計以外に使用することはありません  
ので、ありのままご記入ください

平成 24 年度 経済社会における生物多様性の保全等の促進に関する情報収集・発信委託業務

## 生物多様性分野における事業者による取組の実態調査

### 調査票

調査実施者：環境省(自然環境局自然環境計画課生物多様性施策推進室)

調査受託機関：いであ株式会社(国土環境研究所 生物多様性計画部)

(本調査票の送付等:株式会社サーベイリサーチセンター(社会情報部))

この調査は、環境省が今年度試行的に実施するものであり、事業者における生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取組の実施状況を把握するために、従業員500人以上(農業、林業、漁業、鉱業・採石業・砂利採取業については50名以上)の事業者を対象に実施するものです。

御多用中のところ誠に恐縮ですが、調査票は平成25年1月31日(木)までに社内の環境・CSR担当の方に記入していただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

調査票にご回答いただくに当たっては、同封の参考資料(「生物多様性」及び「生物多様性分野における事業者の取組」とは)をご参照いただきますようお願いいたします。また、調査票に関する問い合わせ等は、いであ株式会社(以下の連絡先)へお願いいたします。

#### 【連絡先】

いであ株式会社 国土環境研究所 生物多様性計画部

電子メール：[ks-kentokai@ideacon.co.jp](mailto:ks-kentokai@ideacon.co.jp)

電話番号：045-593-7639

※ 出来る限り電子メールでのお問い合わせをお願いいたします

#### 【記入時の注意事項】

- 1) 選択項目では該当するもの1つ(あるいは複数回答可の質問は該当するもの全て)を選び、この調査票の回答欄の番号に直接○を付けご返送いただくか、専用ウェブサイト(以下 URL)にアクセスしてご回答ください。

(URL) <https://www.surece.co.jp/biodiversity>

- 2) 選択項目のうち、「その他」を選んだ場合には、カッコ内に具体的な内容をご記入ください。
- 3) 回答にあたっては、特段の指示がない限り、平成25年1月4日現在の状況にてお願いいたします。
- 4) 質問において「貴社」という表現を使用していますが、それぞれの組織形態に応じて適宜読み替えてください。

問1. 貴社の概要について下欄にご記入ください。

①貴社名	
②業種	(巻末の表1より、最も当てはまる番号を1つ選んでください)
③本店所在地 (都道府県)	都 道 府 県
④上場の有無	1.上場している 2.上場していない (あてはまる番号に○を付けてください)
⑤前年度売上高(※)	百万円( 年 月決算)
⑥国外での事業活動の有無	1 国外で活動している ( ) 2 国外で活動していない (あてはまる番号に○を付け下表の当てはまる数字をカッコ内にご記入ください)
⑦ご回答者様について	
ご所属部課名	
ご回答者氏名	
ご連絡先・電話番号	
ご連絡先・メールアドレス	

※ 原則としてグループとしての連結売上高ではなく貴社単体の売上高をご記入ください。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 北アメリカ | 4. ヨーロッパ |
| 2. 南アメリカ | 5. アフリカ  |
| 3. アジア   | 6. オセアニア |

(注) 他の地域での活動規模と比較して活動規模が非常に小さい地域については除外してください。

問2-1. 環境省の「生物多様性民間参画ガイドライン」(平成21年8月公表)をご存じでしたか。また、同ガイドラインを活用されていますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

- |                   |
|-------------------|
| 1. 知っており、活用している   |
| 2. 知っているが、活用していない |
| 3. 知らなかった         |

問2-2. 生物多様性条約第10回締約国会議において採択された「戦略計画2011-2020(愛知目標)」についてご存じでしたか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

- |                      |
|----------------------|
| 1. 内容を知っている          |
| 2. 内容は知らないが、聞いたことがある |
| 3. 聞いたことはない          |

問3-1. 貴社では、生物多様性と貴社の事業活動との関係及び貴社の事業活動におけるその重要性についてどう思われますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

- |                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 事業活動と関係があり、重要視している       | } 3-2にお進みください |
| 2. 事業活動と関係はあるが、それほど重要視していない |               |
| 3. 事業活動との関係は小さく、重要視していない    |               |
| 4. 事業活動との関係を把握していない         | → 3-5にお進みください |

問3-1. で「4.事業活動との関係を把握していない」と回答された方は、問3-5. にお進みください。

問3-2. 貴社では、事業活動が生物多様性に与える影響や事業活動が依存している自然の恵み（生態系サービス）等、事業活動と生物多様性の関係についてどの程度把握していますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

- |                   |
|-------------------|
| 1. 全般的に定量的に把握している |
| 2. 一部定量的に把握している   |
| 3. 全般的に定性的に把握している |
| 4. 一部定性的に把握している   |

問3-3. 貴社の事業活動が生物多様性に及ぼす影響として、どのようなものが可能性として考えられますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

- |   |
|---|
| 1. 紙、木材の使用による森林への影響   |
| 2. 土地改変等による野生生物の生息・生育地の変化（土地改変による生息・生育地の減少・移動経路の分断、森林伐採による河川流量の減少等） |
| 3. 生物資源の過剰採取（過剰漁獲等による漁業資源の減少等）                                      |
| 4. 外来種の移入（物資の輸送や緑化、養殖等における外来種の利用等に伴う移入）                             |
| 5. 汚染等による野生生物の生息・生育地の劣化（汚染原因物質の排出等）                                 |
| 6. 電気・燃料の使用による温室効果ガスの排出による気候変動の影響                                   |
| 7. その他（ )   |

問3-4. 貴社の事業活動は、どのような自然の恵み（生態系サービス）を受けているとお考えですか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 食料の供給及び生産
2. 木材・紙・繊維の供給
3. 燃料（バイオマス等）・飼料・肥料の供給
4. 淡水（飲料水、工業用水、農業用水等）の供給
5. 遺伝資源の供給
6. 生物由来の化学物質・薬の原料の供給
7. 森林等による土壌浸食や自然災害の防止・緩和
8. 微生物等による水質浄化及び有機物の分解
9. 昆虫等による花粉媒介
10. 自然の中での娯楽や旅行
11. わからない
12. その他（ )

問3-5. 貴社では、生物多様性の保全や持続可能な利用に関する取組（以下「生物多様性に関する取組」という）を実施しない場合に、どのような経営上のリスクが生じると思いますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 社会的評価、ブランド力、市場競争力の低下、金融市場における格付け低下、投融資対象からの除外
2. 顧客におけるグリーン調達への推進による顧客の減少
3. 原材料調達の困難化、原材料調達コストの増大
4. 工場の操業、製品の供給の困難化
5. 規制強化による罰金の支払い、許可又は免許の停止
6. 従業員の士気の低下、採用への悪影響
7. 訴訟リスク
8. 特にリスクはない
9. わからない
10. その他（ )

問3-6. 貴社では、生物多様性に関する取組を実施した場合に、どのような経営上のチャンスが生じると思いますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. ブランドイメージの向上、消費者へのアピールや同業他社との差別化、社会的責任を重視する投資家へのアピール
2. 生物資源の使用量削減努力等による持続可能な生産体制の構築
3. 原材料供給者による生物資源保全の取組による安定供給の実現
4. 工場・事業場の操業の許可の取得
5. 新たな規制等に適合した製品やサービスの開発・販売
6. 環境認証製品等、生物多様性に配慮した製品やサービスの市場の開拓
7. 従業員の士気の向上、採用希望者の増加
8. 地域住民等社外の関係者の理解を取り付けることによる関係強化
9. 特にチャンスは生じない
10. わからない
11. その他 ( )

問4-1. 貴社では、何らかの生物多様性に関する取組（方針や目標の設定、推進体制の整備、環境マネジメントシステムや情報公開、環境教育への生物多様性の組み込み、事業活動における場面毎の取組、社会貢献活動等）を実施していますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 実施している
  2. 実施する方向で検討している
  3. 実施しておらず、実施する予定もない
- } 4-2以降にお進みください  
→ 質問は以上となります

問4-2以下の質問については、何らかの生物多様性に関する取組を実施もしくは実施を検討している場合にご回答ください。生物多様性に関する取組を実施しておらず、実施する予定がない場合、質問は以上となります。ご協力有り難うございました。

問4-2. 貴社では、生物多様性の保全や持続可能な利用について、方針を定めていますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 方針を定めている
2. 方針を定める方向で検討している
3. 方針を定めておらず、定める予定もない

問4-3. 貴社では、生物多様性に関する取組を実施するに当たって目標を設定していますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

- 1. 定量的な内容を含む目標を設定している
- 2. 定性的な目標を設定している
- 3. 目標の設定に向けて検討を行っている
- 4. 目標を設定しておらず、設定する予定もない

問4-4. 貴社では、生物多様性に関する取組を推進するにあたり、どのような社内体制を構築していますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

環境全般の推進体制の中で生物多様性を扱っている場合には、環境全般の推進体制についてご回答下さい。

- 1. 複数部門にまたがる体制を構築している
- 2. 専門の部署を設置している
- 3. 複数部門にまたがる体制や専門の部署はない
- 4. その他 ( )

問4-5. 貴社では、生物多様性に関する取組の推進責任者はどのような方ですか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

環境全般の推進体制の中で生物多様性を扱っている場合には、環境全般の推進責任者についてご回答下さい。

- 1. 代表権を持つ取締役等
- 2. 代表権を持たない取締役、執行役員等
- 3. 環境・CSR担当部門の部門長等
- 4. 推進責任者はいない
- 5. その他 ( )

問4-6. 貴社では、ISO14001等の環境マネジメントシステムに生物多様性に関する事項を組み込んでいますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

- 1. 組み込んでいる
- 2. 組み込む方向で検討している
- 3. 組み込んでおらず、組み込む予定もない
- 4. 環境マネジメントシステムを導入していない。

問4-7. 貴社では、環境報告書やホームページ等による情報公開において、生物多様性に関する情報公開を行っていますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

- 1. 行っている
- 2. 行うことを検討している
- 3. 行っていない

問4-8. 貴社では、自社の従業員に対して、生物多様性に関する教育を行っていますか。  
1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 行っている
2. 行うことを検討している
3. 行っていない

問5-1. 貴社では、原材料調達段階でどのような生物多様性に関する取組を実施していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

なお、一次産業の原材料調達としては、農薬、肥料、種苗、飼料、稚魚等の調達が想定されます。

また、原材料調達を伴わない業種の場合でも、使用する紙等の資材購入を想定してご回答ください。

1. 原材料の使用量の低減を図っている
2. 原材料の生産・加工・流通履歴（トレーサビリティ）を把握し、生産地の生物多様性への配慮状況を確認している
3. 認証を取得した原材料等、生物多様性に配慮された原材料を優先的に調達している
4. 調達先等供給網（サプライチェーン）の関係者に対して自社が影響を及ぼしうる範囲で配慮を依頼している
5. 生物多様性に配慮した原材料とその他の原材料を分別し、表示している
6. 原材料の調達において、取組は行っていない
7. 原材料の調達を行っていない
8. その他（ ）

※注釈

ここでいう生物多様性に配慮した認証とは、以下の例に示すような認証制度を指します。その他の認証を活用されている場合には、生物多様性の保全等に資する認証かどうかを判断してください。

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| • PEFC           | • RSPO                 |
| • FSC            | • Rainforest Alliance  |
| • SGEC           | • Bird Friendly Coffee |
| • MSC            | • エコファーマー              |
| • マリン・エコラベル・ジャパン |                        |

問5-2. 貴社では、生産・加工段階（事業場の操業、農林地や漁場での施業等）でどのような生物多様性に関する取組を実施していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

なお、一次産業の場合は、田畑や林地における栽培、施肥、農薬散布、収穫、伐採、加工等の各段階や、漁獲行為そのものや船・養殖・加工施設の操業等の各段階を想定してご回答ください。また、「生産」「製品」という表現を使用していますが、業態に応じて適宜読み替えてください。

1. 排水・排気等に含まれる化学物質の種類や量等の確認、生物多様性への影響の把握及び低減対策等を実施している（農薬、肥料、薬品の削減等も含む）
2. 生産・加工製品について生物多様性配慮の認証を取得している
3. 認証は取得していないが、生物多様性に配慮した方法で製品を生産している（農法、施業方法、漁法も含む）
4. 生産・加工・流通履歴（トレーサビリティ）を把握し、生物多様性に配慮した製品等とその他の製品等を適切に分別して扱っている
5. 騒音の低減、光害の抑制を実施している
6. 廃棄物の減量、リサイクルを実施している
7. 生産・加工において取組は行っていない
8. 生産・加工を行っていない
9. その他（ )

問5-3. 貴社では、販売段階でどのような生物多様性に関する取組を実施していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 販売する製品・サービスが生物多様性に与える影響を確認している
2. 生物多様性に配慮した製品・サービスとその他の製品・サービス等を適切に分別して扱っている
3. 生物多様性配慮の認証を取得した製品等、生物多様性に配慮した製品・サービスを優先的に取り扱っている
4. 製品・サービスについて、生物多様性配慮の内容を表示している
5. マーケティングや販促活動の中で、生物多様性に関するコミュニケーションを実施している
6. 製品・サービスの利用者に対して、生物多様性に配慮するための利用の際の留意点に関する情報を提供している（観光ガイドにおける配慮事項の説明等も含む）
7. 販売において取組は行っていない
8. 販売を行っていない
9. その他（ )



問5-4. 貴社では、投融資等でどのような生物多様性に関する取組を実施していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 投融資の審査基準に生物多様性への配慮を盛り込んでいる
2. 生物多様性に配慮した金融商品を開発し、提供している
3. 生物多様性に配慮した金融の考え方等を広め、投資家に有用な情報を提供している
4. 株主、投資家に対して自社の生物多様性への取り組みを積極的にアピールしている
5. 投融資等において取組は行っていない
6. 投融資等を行っていない
7. その他 ( )

問5-5. 貴社では、研究・開発でどのような生物多様性に関する取組を実施していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 生物多様性に与える影響が小さい生産方法や工法を研究・開発している（農薬使用量を削減できる農法、混獲の少ない漁法、漁業資源量の予測技術の開発等も含む）
2. 生物多様性に与える影響が小さい製品・サービスを研究・開発している（原材料や廃棄物量が削減できる製品・サービス等）
3. 自然界にある形態や機能を真似したり、そこからヒントを得た技術や製品・サービスを研究・開発している
4. 研究・開発において取組は行っていない
5. 研究・開発を行っていない
6. その他 ( )

問5-6. 貴社では、土地（水域・海面等を含む）利用・開発事業でどのような生物多様性に関する取組を実施していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 事前に当該地及び周辺の生物多様性の状況について調査し、生物多様性の保全上重要な地域である場合開発を避けるなど、影響の回避・低減を実施している
2. 他の場所での生息・生育環境の復元・創出等の代償措置を実施している
3. 鉱山等の跡地において、改変前の植生に戻すような植栽等の回復計画を立案・実施している
4. 緑地を創出する際には、郷土樹種の利用や外来種の侵入防止等の配慮を実施している
5. 開発事業による影響について継続的に事後調査を行っている
6. 開発事業による影響の予測・評価や保全の取り組みについて情報を公開し、様々な社外の関係者と連携を図っている
7. 土地利用・開発事業において取組は行っていない
8. 土地利用・開発事業を行っていない
9. その他 ( )

問5-7. 貴社では、保有地（水域、海面等を含む）管理においてどのような生物多様性に関する取組を実施していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 保有地の管理において、郷土樹種の利用や外来種の移入防止、生息地のネットワーク等、周辺地域の生態系との関係性を考慮している
2. 地域の生態系保全や社員に対する環境教育等を目的として、自然環境を保全・整備している
3. 環境調査を行い、生物多様性の現状を把握している
4. 保有地における緑地の管理について第三者による評価を受けている
5. 保有地管理において取組は行っていない
6. 保有地管理を行っていない
7. その他（ )

問5-8. 貴社では、生物資源（動植物等）の利用においてどのような生物多様性に関する取組を実施していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 利用する生物資源の量を定期的に調査し、枯渇しないよう利用量等の管理を行っている
2. 生物多様性配慮の認証の取得や認証を取得した製品の購入等に取り組んでいる
3. 生物資源を利用している土地や海域が生物多様性の保全上重要な地域かどうか確認し、該当する場合、利用の回避や影響の低減を実施している
4. 禁漁区や自主的な保護区の設定等により、生物資源の回復を目的とした対策を講じている
5. 花粉媒介や害虫駆除において外来種の利用を避けている
6. 遺伝資源の利用において関係法令等を遵守している
7. 生物資源の利用において取組は行っていない
8. 生物資源を利用していない
9. その他（ )

問5-9. 貴社では、輸送段階でどのような生物多様性に関する取組を実施していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 低公害車の利用等により、温室効果ガスや黒煙等の排出削減に取り組んでいる
2. 船のバラスト水対策により外来種の移入・移出を防止している
3. コンテナ、パレット等に付着する昆虫・種子等の管理により外来種の移入・移出を防止している
4. 自主くん蒸により外来種の移入・移出を防止している
5. 上のような取組を実施している輸送業者を起用している
6. 輸送において取組は行っていない
7. 輸送を行っていない
8. その他（ )

問6-1. 貴社では、生物多様性の保全や持続可能な利用に関する社会貢献活動として、どのような取組を実施もしくは支援していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 郷土樹種の利用等生物多様性に配慮した手法での植林・植樹
2. 1以外の植林・植樹
3. 間伐等による森林管理
4. 海域の環境保全
5. 湿原・草原の環境保全
6. 河川・湖沼の環境保全
7. 水田・畑での取組（有機栽培等）
8. 里地・里山の管理
9. 生物多様性の保全や持続可能な利用に関する社会貢献活動を実施していない
10. その他（ ）

問6-2. 生物多様性の保全や持続可能な利用に関する社会貢献活動を行っている場合にお聞きします。貴社では、同活動をどの地域で実施もしくは支援していますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. 国内
2. 国外
3. 国内と国外の両方

問7. 貴社では、どのような社外の関係者と連携して生物多様性に関する取組を実施していますか。当てはまるものを全て選んで選択肢の番号に○を付けてください。

1. NPO・NGO
2. 地方公共団体
3. 地域住民
4. 業界団体・事業者
5. 社員の家族
6. 社外関係者と連携した取組を実施していない
7. その他（ ）

問 8. 貴社では生物多様性に関する取組を開始するにあたり、何がきっかけになりましたか。  
1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 経営層からの指示・提案</li><li>2. 従業員からの提案</li><li>3. NPO・NGOからの指摘・提案</li><li>4. リスクの顕在化（訴訟、原材料調達のトラブル等）</li><li>5. 取引先からの要求・提案</li><li>6. わからない</li><li>7. その他（<span style="float: right;">）</span></li></ol> |
|--|

問 9. 国外で生物多様性に関する取組を実施している場合にお聞きします。貴社は、国外における取組を、国内における取組と比較してどの程度実施していますか。1つ選んで選択肢の番号に○を付けてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 国内以上に実施している</li><li>2. 国内と同程度に実施している</li><li>3. 国内ほど実施していない</li></ol> |
|--|

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【表1】：業種選択一覧表（1ページ 問1. 貴社の概要②に係わる業種）

産業大分類	産業中分類	選択番号	産業大分類	産業中分類	選択番号		
A	農業	01	I	各種商品卸売業	50		
	林業	02		繊維・衣服等卸売業	51		
B	漁業(水産養殖業を除く)	03		飲食料品卸売業	52		
	水産養殖業	04		建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	53		
C	鉱業、採石業、砂利採取業	05		機械器具卸売業	54		
				その他の卸売業	55		
D	総合工事業	06		各種商品小売業	56		
	職別工事業(設備工事業を除く)	07		織物・衣服・身の回り品小売業	57		
	設備工事業	08		飲食料品小売業	58		
E	製造業	09		機械器具小売業	59		
		食料品製造業		10	その他の小売業	60	
		飲料・たばこ・飼料製造業		11	無店舗小売業	61	
		繊維工業		12	J	銀行業	62
		木材・木製品製造業(家具を除く)		13		協同組織金融業	63
		家具・装備品製造業		14		貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関	64
		パルプ・紙・紙加工品製造業		15		金融商品取引業、商品先物取引業	65
		印刷・同関連業		16		補助的金融業等	66
		化学工業		17		保険業(保険媒介代理業、保険サービス業を含む)	67
		石油製品・石炭製品製造業		18		K	不動産取引業
		プラスチック製品製造業(別掲を除く)		19	不動産賃貸業・管理業		69
		ゴム製品製造業	20	物品賃貸業	70		
		なめし革・同製品・毛皮製造業	21	L	学術・開発研究機関	71	
		窯業・土石製品製造業	22		学術研究、専門・技術サービス業(他に分類されないもの)	72	
		鉄鋼業	23		広告業	73	
		非鉄金属製造業	24		技術サービス業(他に分類されないもの)	74	
		金属製品製造業	25	M	宿泊業	75	
		はん用機械器具製造業	26		飲食サービス業	76	
		生産用機械器具製造業	27	N	飲食店	77	
		業務用機械器具製造業	28		持ち帰り・配達飲食サービス業	78	
電子部品・デバイス・電子回路製造業	29	洗濯・理容・美容・浴場業	79				
電気機械器具製造業	30	O	その他の生活関連サービス業	80			
情報通信機械器具製造業	31		娯楽業	81			
輸送用機械器具製造業	32	P	学校教育	82			
その他の製造業	33		その他の教育、学習支援業	83			
電気業	34		医療、福祉	84			
F	ガス業	35	Q	保健衛生	85		
	熱供給業	36		複合サービス事業	86		
	水道業	37	R	郵便局	87		
	G	通信業		38	協同組合(他に分類されないもの)	88	
放送業		39		サービス業(他に分類されないもの)	廃棄物処理業	89	
情報サービス業		40			自動車整備業	90	
インターネット附随サービス業		41			機械等修理業(別掲を除く)	91	
映像・音声・文字情報制作業		42	職業紹介・労働者派遣業		92		
鉄道業	43	その他の事業サービス業	93				
H	道路旅客運送業	44	政治・経済・文化団体	94			
	道路貨物運送業	45	宗教	95			
	水運業	46	その他のサービス業	96			
	航空運輸業	47	T	分類不能の産業	97		
	倉庫業	48		分類不能の産業	98		
	運輸に附帯するサービス業	49		分類不能の産業	99		
	郵便業(信書便事業を含む)						